

二之丸をめぐる歴史

松山城は、慶長7年(1602年)に松山藩初代藩主加藤嘉明によって建設が始められ、二之丸を含む城郭全体が完成したのは、二代藩主藩生忠知の時代(1627年~1634年)とされています。

二之丸は本丸(天守など)を防衛するための施設で、南と西側には内堀があり、高い石垣と強固な櫓や門、それらをつなぐ堀によって囲まれ、その内側には藩主の生活や政務のための二之丸邸がありました。

貞享4年(1687年)に新たに三之丸邸が完成し、藩主は三之丸邸に移り、その後の二之丸邸は、世継ぎの方に屋敷などとして使われました。

明治時代になって一時期、二之丸邸は藩庁・県庁として使われましたが、明治5年(1872年)に火災により焼失し、二之丸邸は270年余りにわたるその歴史の幕を閉じました。

恋人の聖地に認定

松山城二之丸史跡庭園は、2013年10月1日「恋人の聖地」として、NPO法人地域活性化支援センターから認定を受けました。これは、和風情緒のある景観に加え、日露戦争時のロシア人捕虜と日本人看護婦のロマンスを秘めた金貨が出土したこと、結婚式の前撮りの場所として、年間500件ほどの撮影が行われていることなど、カップルを引きつける魅力がある「恋のパワースポット」が評価されたことによります。



大井戸遺構

発掘によってその規模が明らかになった大井戸は、東西18m・南北13m・深さ9mあり、防火用水として備えられたものと思われます。

大井戸の東半分は、井戸の中に三列各三本の柱が縦横に貫通して組まれ、その上に邸がせり出して建てられていました。

その基礎部となった梯子状の木材は、現在もそのまま残っています。

■開園時間

2月1日 → 7月31日	9時~17時
9月1日 → 11月30日	
8月1日 → 8月31日	9時~17時30分
12月1日 → 1月31日	9時~16時30分

※入園は、開園時刻の30分前以降はできません。

■入園料

個人	大人	100円
	小人(小学生)	50円
団体	25人以上	上記の金額の1割~5割引
●身体障害者手帳・療育手帳の所持者及びその介護人1名		無料
●松山市内在住の65歳以上の方(運転免許証や保険証などを窓口で提示してください。)		
●保護者の同伴する5歳以下の方(2名まで)		

■施設使用料 (ご利用は開園時間内に限ります。)

区分・時間	午前	午後	夜間
	9時~12時	12時~16時30分	16時30分~19時
観恒亭	3,000円	5,000円	4,000円
聚楽亭	2,000円	3,000円	2,500円
勝山亭	1,500円	2,500円	—
庭園	1回7,000円		

※冷暖房の使用料は、施設使用料の3割に相当する額。

■休園日 / 12月第3水曜日

■交通案内 ※大型バスでお越しの際は事前にご連絡ください。



■車椅子でお越しの方へ

庭園の入口までは、急な坂道がありますので、車椅子でお越しの方は、事前にご連絡ください。

お問い合わせ

〈指定管理者〉

伊予鉄道株式会社 松山城総合事務所
二之丸・堀之内管理事務所

〒790-0008 松山市丸之内5番地 TEL (089) 921-2000 FAX (089) 921-2134
<http://www.matsuyamajo.jp>

